



北海道がより身近に

富山—札幌便就航

県民待望の富山—札幌便が六月一日から一日一往復就航。富山空港は、東京便、名古屋便を合わせた三路線が就航することになりました。

富山空港で行われた初便歓迎式では、中沖知事らのあいさつに続いて、機長・チーフパンサーへの花束贈呈や、関係者によるテープカットが行われました。

また、就航記念行事として、宗田副知事ら表敬訪問団の二十人が北海道の関係機関を訪れたほか、札幌市内のデパートで、富山県の観光と物産展が開催され、大勢の人でにぎわいました。

古くは江戸時代の売薬配送や、明治時代の移住など、富山県とはひとときわつなりの深い北海道。今回の就航により、単に人の動きだけでなく、経済・産業・文化の各方面で、今後一層の交流が期待されます。



▲富山空港でも北海道物産展